

おもな記事
第一面 農業被害を防ごう／農業委員選挙／高校総体リハーサル／会場警備の厳格
第二面 夏をきれいに健康に
第三面 予防接種／やさしい法律／中小企業への資金融資
第四面 お知らせ／写真ニュース／伝説その付近

季節の写真

田植え

夏の風物詩『田植え』が6月中旬ごろから7月はじめにかけて、新市域各地区で行なわれています。

赤いタスキに、かすりのモンペ姿の早乙女たちの姿は、近ごろではめっきり見られなくなりましたが、ともあれ農家では、いま一家総出の『田植え』たけなわです。

【写真は天川大島地内で】



『農業被害』を

防ぎましょう

散布のときは完全な服装で

農業被害防止および魚族被害防止月間を迎え、次のことに注意しましょう。

【農業被害防止の注意点】

- (1) ほとんどの農薬は毒性があるため、取り扱いには十分注意し、使用器具も整備して使う。
- (2) 農薬を使用するときは、農薬のビンや袋に書いてある注意事項をまもりましょう。
- (3) 散布するとき

は、帽子・マスク・皮膚保護クリーム等完全な服装で行ないます。

(4) 炎天下での長時間散布は、なるべくやめましょう。

(5) 散布中、タバコ・食事などをとるときは、石けんなどで手をよく洗いましょう。

(6) 散布の前夜は、夜ふかし・深酒をつつし、また老人・年少者・妊婦・手足にキズのある人などは作業に従事させないようにしましょう。

【魚族被害防止の注意点】

水田や桑園の除草剤として使用されるPCP剤は、魚族に対し毒性が強く、ごく少量でも死に至りますので次の点を厳守し、できるだけPCP剤にかわる毒性の低い除草剤(MO・ニップ等)を使用してください。

(1) PCP剤は河川・溜池などに流入する心配のない場所で使用します。

(2) PCP剤を使用した水田の水は、一週間は排水せず、畦畔のもぐら穴や、その他で流出しないようにします。

(3) PCP剤を使用した器具および器具等を消毒したときは、川で洗ったり残液を流さないようにします。

(4) PCP剤は養魚場の付近では使用しないこと。

(5) PCP剤による被害魚は食べないでください。

(6) PCP剤入り肥料について特に注意する。

農業委員の選挙

7月15日執行予定です

きたる七月十九日に任期が満了する市農業委員会委員の一般選挙は、全国的に投票日を統一して行なわれますが、県下では本市をはじめ六十市町村が七月十五日に選挙を行ないます。

○選挙人名簿 農業委員の選挙人名簿は、永久名簿ではなく、毎年一月一日現在で、農業委員の選挙権を有するみなさんからの申請にもとづいて調製しました。

したがって、この名簿にのっていませんと、投票することはできません。

○選挙権 (1) 年齢満二十歳以上

上(昭和二十四年四月一日までに生まれた人)で、十アール以上の農地を耕作している人。

前記に該当する人の同居の親族または配偶者で、年間おおむね六十日以上耕作に従事している人。

○被選挙権 (1) 選挙権と被選挙権の相違は、年齢の算定がちがうほかは同じです。

(2) 被選挙権の年齢の算定は、選挙期日(投票日)によります。

(3) 今回の選挙の被選挙権については年齢は、昭和二十四年七月十六日までに生まれた人となります。

○立候補者の届け出 選挙告示の七月五日から八日まで、市役所午前八時三十分から午後五時まで受け付けいたします。

○選挙区と選挙する委員の数

第一区 上川淵・下川淵・永明の各出張所の管轄区域および旧市域(第二区から第四区までの区域

に属さない区域) 十一人。

第二区 芳賀・桂置および南橋の各出張所の管轄区域 十三人。

第三区 東・元総社・総社および清里の各出張所の管轄区域 六人。

第四区 城南支所の管轄区域 十人。

○投票は19か所で (1) 投票所は、市内十九か所設けられる予定です。

(2) 投票の時間は午前七時から午後六時まで。

(3) 選挙人名簿にのっている人には、投票所入場券を発行します。

入場券には、あなたの投票所の場所が印刷してありますから、当日は入場券を持参してお出かけください。

○開票(選挙会) 開票は即日開票です。

候補者の当選を決定する選挙会とあわせて、市内四か所で、午後七時から開始されることになっています。

この選挙についてのお問い合わせは、市選挙管理委員会事務局(電話24局一三二一)へ。

高校総体

総合開会式

リハーサル

7月11日(金)
数島総合運動場

きたる八月一日に行なわれる『全国高校総体』の総合開会式のリハーサルが、次のとおり実施されます。

『本番』の八月一日には、入場者に制限がありますので、万一ご観覧されない場合もありますのでリハーサルをぜひご観覧ください。

【日時】 七月十一日(金)
午前七時三十分から午前十一時五十分まで。

【場所】 数島総合運動場陸上競技場。

【内容】 総合開会式の時間に合わせ、女子高校生の『系の詩』高校コーラス隊の『若い群鳥のうた』、男女高校生による『伸びゆく群馬』等の公開演技を、『本番』のとおりに行ないます。

競技種目の

会場整理券を
予約発売

ことし八月開催される『全国高校総体』の競技種目のうち、競技会場のせまい種目(バレーボールの第3・4日、水泳競技)については入場整理券の必要がありますので、次のとおり整理券を発売することになりました。

【バレーボール整理券】 五十円

第三・四日(二日間)に限り整理券を発行します。

発売は七月十五日から二十日まで、ただし、売切れの場合は締切ります。

【水泳整理券】 二十五円

水泳・競泳・飛込の共通券です。発売は七月十日から。売切れのときは締切ります。

【発売の方法】 両種目とも予約発売とします。ご希望の方は、前橋市中央公民館内の高校総体前橋市実行委員会事務局(バレーボール競技部・水泳競技部)へお申し込みください。

お知らせコーナー

ラジオ体操
指導者講習会

7月16日午後6時から県営スポーツセンターで。参加者は各町内の自治会長からの推せんを受けた人に限ります。

申し込みは7月12日までに市中央公民館内、市教委体育課へ。臨時直通電話は32局6641。

視聴覚教育

指導者養成講習会

8月17・19・20日の3日間、県婦人青少年センターで視聴覚教育指導者養成講習会がひらかれます。視聴覚教育概論、映写機の実習と実習、実技テストなどを行います。

申し込みは8月10日までに市教委社会教育課へ。定員30人(先着順)で締め切ります。

職業訓練

指導員試験

建築大工、左官、洋裁工、溶接工、機械工、自動車整備工、ブロック建築工、塗装工などを対象とする「職業訓練指導員試験」が行なわれます。

試験日は8月1日(江田町の前橋職業訓練所)に学科試験が、8月2日から31日までの間に実技試験が実施されます。

申し込みは7月15日までに県庁内職業訓練課(電話21局1511内線385)へ。受験資格その他詳しいことのお問い合わせも同課へ。

刑務官の募集

7月25日まで

刑務所などで、収容者の警備・監督・管理等の業務を担当する刑務官を全国で500人募集しています。

受験資格は、昭和15年4月2日から27年4月1日までに生まれた男子で、学歴は高校卒業程度。

試験日は8月24日(第1次試験＝筆記試験・身体検査)と10月上旬(第2次試験＝口述試験・体力検査)で前橋市ほか全国36都市で実施されます。

給与は初任給本俸2万3千円、ほかに扶養手当、通勤手当が支給されます。

申し込みは7月25日まで。詳細は前橋刑務所(南町一丁目23-7、電話21局4247)へ問い合わせください。

NHK記録映画を見る会

7月19日東電サービスセンターで

市教育委員会後援による「NHK記録映画を見る会」が7月19日午後3時から東電サービスセンター2階ホールで行なわれます。

上映されるのは「海を耕やす」カラー・50分、「生まれかわる草原の国モンゴル」カラー・30分の二本。入場は無料です。

行政相談員きまる

大園さんら三名

群馬行政監察局では、行政の正しい運営をはかるため、住民のたがたから、行政上の苦情や不平不満および行政に関する意見、要望などをきき、相手方の役所に連絡して業務の改善を促進することをな行なっています。これらの申し出の利便をはかるため、各市町村ごとに、行政相談員がおかれています。

行政相談員は、行政管理局長官から法律にもとづいて委嘱されており、ことし四月一日づけで、次のかたがきまりましたので、お知らせします。

大園軍之丞(紅雲町一丁目十八番三) 藤井 清(総社町高井四) 並木房太郎(二之宮町二四九)



あたかい
こころ

- 衣類四十点 日吉町一丁目十一番八、土屋水さんから。
- 衣類二十六点・洗剤三袋 千代田町四丁目十一番六、十字屋前橋店から市内義老老人ホームへ。
- 現金六百元 上石倉町第五班匿名の人から。
- 現金二万五千元 石倉町一丁目九の三、近藤智恵子さんから。
- 衣類五件 匿名の人から。
- 衣類四件 表町一丁目十八の九永井文子さんから。
- 衣類十四点 匿名の人から。

写真ニュース



妙技を公開

消防レンジャー訓練

○高層ビル火災などに備えた消防レンジャー訓練が、二十四



交通指導員任命

各小学校区別別に30人

○交通安全対策のひとつとして、登下校時の学童の誘導と歩行者の交通指導にあたる「交通指導員」が任命され、16日おそりの制服とヘルメット・警笛・腕章などが渡されました。

○任命は各小学校区別に1〜2名の計30人で、次のかたがたです。

中野一・宮永淳(桃井小) 横山誠・大野武(中川小) 星野勇・新井明雄(敷島小) 小林幸雄・中条文利(城南小) 宮石勝司・入沢晃(城東小) 立川金太郎・武井力(天川小) 渡辺平三郎・柿沼博康(天川小) 峰岸庄五郎・渡辺 実(岩神小) 浅野 栄次郎・丸山一司(中央小) 斎木久雄(上川小) 小林隆男(下川小) 大沢文雄(桂香小) 青木 貴(芳賀小) 山田功(総社小) 蛙原善郎(元総社小) 倉林昭吾(東室田小) 南橋 清水三三(清里小) 関口三男(水明小) 松村富士男・吉田明男(城南小) 計30人。

改正消防法

説明会

7月15日から

全国的に火災による死傷者が増加の傾向にあります。このため、消防法がとくに「人命保護」の立場から改正されましたが、この改正によって事業場は、共同防火管理、防災処理、消防用設備等について、あらたに規制を受けることになりました。

この「改正消防法」の説明会を次のとおり行ないます。受講のうえ、事業場の人命対策を講じてください。

説明会は次のとおり防火対象物の業態別に開催します。

開催日時

7月15日(午後1時30分〜3時)

防火管理者協会代議員のみ対象

7月16日(午前10時〜11時30分)

小・中・高・大・各小学校

市消防庁舎講堂、消防本部付近は駐車禁止です。あらかじめご承知ください。

○説明会費用は当日会場無料配布します。なお「防火管理者早見法令集」を要費(一部二百円)で頒布します。

「花火あそび」の注意

危険なロケット遊び

つゆが明けると、子どもたちにはたのしい「花火シーズン」。花火は夏の風物詩ともいえますが、この花火のあげ方がまちがってたり、ケガ人が出たりします。おたがい次のことに注意して、たのしく「花火あそび」をしましょう。

- (1) 燃えやすいものの近くであげない。
- (2) 打上花火や筒花火は、空

伝説とその付近

⑥

村主の清水 (前橋の義老の滝)

国道五十号線と伊勢崎・大胡線の交差する十字路を左に折れ約二キロほど北に進みますと、泉沢町に入ります。

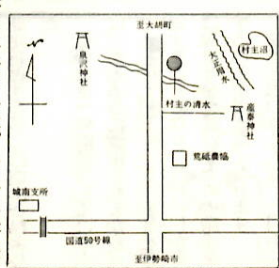
道のわきにちよつとしたやぶがあります。道の下は、ドクダミの花が一面に咲きみだれ、その中を十メートルほど歩きますと、僅かですが、清水が湧き出しています。これが、村主(すぐろ)の清水の伝説の場所といわれています。

ちょうど麦刈の盛り、近くの畠でお仕事中の吉田信章(69)さんと吉田宗十郎(63)さんにこの清水にまつわる伝説を聞いてみました。



「昔村の農夫が赤城へ薪を取りに行きました。どうしたところか、いつも薪を一本も取らずに帰って来た。村の人たちは不思議に思っていました。その男は、この清水のところにきて、水を汲んで飲んでいた。これをみんなも不思議に思っていました。清水を飲んで、いっしょになって清水を飲んだところ、それは酒だったのです。みんなは酒に酔って楽しんでいました。このことはいつしか村中にひろまり、ついにはだれも仕事もなくなってしまうことになった。」

このことを聞いた一人の村人は、この清泉に馬の舌(くつ)を



突き入れました。それ以来ただの清水になってしまいました」ということです。

この清水を手に入れた村主(すぐろ)といへんため、きれいな水です。付近の人は、最近までこの水を飲んだそうです。

村主(すぐろ)という名前についてはよくわかりませんが、この清水から五百メートルほどいったところに村主沼があり、水が来たため、最近では、この清水の量もたいへん少なくなりました。

またこの泉沢には獅子舞があります。毎年八月一日朝早くから泉沢神社氏子の青年達によって毎戸に奉納されます。獅子頭は村主明神の御神体といわれる大きなもので、この頭を頭上に被って歩きます。この獅子が庭に入ると、青年達は声を揃えて「いざや、お獅子を参らする。」

獅子は、村主山なる大明神の御神楽、三尺の御幣を持って悪魔を払い給う」と歌います。

村主山がどこにあったのかよくわかりませんが、当時の泉沢の人々にとりて忘れることのできない心のよりどころは、この村主山であったといえます。

舗装された伊勢崎・大胡線を帰ってまいりますと、森の中にあざやかな赤い屋根をもつ産婆様を左手にみながら再び国道十七号線にもどってまいります。

城南支所前には歩道橋ができ、いまではとても心地よく歩けるわけにはまいりませんし、酒酔い運転の禁止を考えると、よき時代であったのかも知れません。

(写真は村主沼)